



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第574号

2022年11月28日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

緑が丘地域の新設校は緊急の課題

八千代緑が丘地域は、東葉高速線の開通とともに発展した比較的新しい街です。その中でも緑が丘西地区は、いまでも人口が増加しています。

緑が丘西地区は、土地区画整理事業で小学校2校、中学校1校の計画だったものが、小学校1校のみであるため、そのしわ寄せは市民、そのなかでも子どもたちに押し付けられてしまっています。

日本共産党の指摘で新設の小学校実現へ

緑が丘西地区の小学校問題というのは、現在建設中の大型集合住宅（618戸）の小学校通学区域が、今年4月の販売開始にあわせて、遠く離れた西高津小学校へ変更されてしまったことです。変更の理由は、将来的に緑が丘西地区の人口が計画より上回る事が明らかになり、近隣小学校の教室数が足りなくなるということでした、

日本共産党市議団の指摘がきっかけで、大問題となり、結果として緑が丘地域に新設の小学校が新設されるということで、ひとまず問題回避となりました。

しかし、八千代市の保育園の待機児童数が全国第2位であるという実態からも、今後、緑が丘地域に中学校が設置されていないことが深刻な問題に発展することは明らかです。

新設中学校の建設も進めよ（裏面に資料あり）

現在でも緑が丘地域に中学校が設置されていないことで、緑が丘西地区では学区を分割され、子どもたちは毎日、遠く離れた睦中学校と高津中学校へ通っています。

さらに、緑が丘西地区の睦中学校が学区とされている生徒、約40人のうち約30人は、保護者の申し出により、高津中学校への入学を許可されています。これは保護者が、少し遠くても安全を考慮した結果ではないでしょうか。

しかし、中学校までの距離は深刻です。八千代市議会で配布した参考資料「八千代市内の中学校から1kmの目安図」（裏面に掲載）のとおり、緑が丘西地区だけではなく、緑が丘地区も含めた駅周辺に中学校が全く設置されていないことが問題ではないでしょうか。

教育委員会は子どもたちを最優先に！

日本共産党は議会で、教育委員会が少年自然の家の廃止、学校数削減を進めていることに対し、「学校では雨漏りの修理、特別教室・体育館へのエアコン設置、コロナ禍でも部活動が動き出し、部活で生徒が移動するためにも費用が必要なのに、教育委員会は財政削減を優先している」と指摘し、「教育委員会は子ども最優先、子ども中心にすべき」と訴えました。

日本共産党八千代市議団は、教育委員会が子どもたち最優先の立場で声をあげられるようになることで、学校問題の解決に向けて前進するものと考えています。引き続き頑張ります。



参考資料：八千代市内の中学校から1kmの目安図

